

平成 25 年度 蛋白研コロキウム

平成 26 年 3 月 27 日(木)

二木杉子 助教 (蛋白質研究所 細胞外マトリックス研究室)

「蛋白研でできたこと、やり残したこと」(司会:関口清俊 教授)

池上貴久 准教授 (蛋白質研究所 先端計測研究室)

「全国共同利用としての NMR 活用」(司会:藤原敏道 教授)

平成 26 年 2 月 20 日(木)

八木 寿梓 助教(蛋白質研究所 蛋白質構造形成研究室)

「恵まれすぎた研究環境の中で」

平成 25 年 11 月 21 日(木)

三間穰治 独立准教授(蛋白質研究所 膜蛋白質化学研究室)

解説 -2013 年度ノーベル賞 医学・生理学賞- “細胞小器官の小胞がタンパク質などを輸送する仕組み”

平成 25 年 6 月 26 日(水)

Yin-Chang Liu (Visiting Scholar from Institute of Molecular Medicine, National Tsing-Hua University)

“Personal research experiences about (1) Direct Involvement of Tumor Suppressor p53 in Nucleotide Excision Repair, and (2) Role of PCNA in Base Excision Repair”

平成 25 年 6 月 21 日(金)

上村みどり博士(帝人ファーマ株式会社、蛋白質研究所客員教授)

「Structure Based Drug Design 概論、セリンプロテアーゼを具体例として」